

科目名	保育相談支援		担当教員	高橋 あい		
			担当形態	単独		
テキスト	授業でその都度、資料を配布します。	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育相談支援の意義と原則について理解し、説明することができる。 ・保育所など児童福祉施設における保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解し、説明することができる。 ・保護者と信頼関係を築くためのコミュニケーション能力を習得する。 ・自己理解を深め、保育者としての自分自身のあり方を考え、述べるすることができる。 <p>■授業の概要</p> <p>保育者が行う相談支援の基礎知識や基本姿勢を身につけることを目標とする。事例を使った実践的なワークを通して、他者や自己への理解を深め、保育者としての効果的な相談について学ぶ。また、相談支援における保育者の専門性や役割を理解し、保護者を支援するための具体的な方法について学ぶ。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション、保育相談支援の意義 第2回 保護者理解を深める 第3回 保護者支援の内容、方法、技術 第4回 保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス 第5回 連絡帳を活用した支援（子どもの成長の喜びの共有） 第6回 保育におけるカウンセリングマインド（受容的なかわり、自己決定、秘密保持） 第7回 保育所における保育相談支援の実際（子どもの最善の利益の尊重と福祉の重視） 第8回 気になる子の保護者への支援（特別な対応を要する家庭への支援） 第9回 障害児施設、母子生活支援施設等における保育相談支援 第10回 保護者の養育力の向上に資する支援の方法について考える（テーマに分かれて、お便りを作成する） 第11回 保護者の養育力の向上に資する支援の方法について考える（テーマに分かれて、育児講座を企画する） 第12回 グループ学習の成果発表 第13回 保育の特性と保育士の専門性を生かした支援 第14回 地域の資源の活用と関係機関との連携・協力 第15回 まとめと期末試験</p> <p>■準備学習</p> <p>指定された予習課題に事前に取り組んだ上で授業に臨むこと。ホームワークは指定された期限を守って提出すること。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 — 30% ・授業への参加姿勢 — 60% ・課題 — 10% 						
参考文献	授業で適宜示す。		特記事項	【課題等のフィードバック方法】 課題は回収後、コメントをつけて返却する。試験後には、模範解答を提示して解説を行う。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修		幼			
			保	保育の内容・方法に関する科目		